

## 療育研修会

北海道地方 本部

◆テーマ 筋ジストロフィーとは何か？当事者の話を聞く 講師 川口 雅紀

筋ジスで主な病気の型としては、デュシェンヌ型、ベッカー型、顔面肩甲上腕型、

筋緊張型等がある。それぞれの型において特徴が異なっている。その他に類似している

ものとしてウェルドニヒホフマン病や脊髄性進行性筋萎縮症、先天性ミオパチー等がある。

型が違うことで症状が異なるため介助方法や注意点が若干異なる。

現在は遺伝子治療に注目されており、患者からは多大な期待が寄せられている。

意思伝達が不自由になる患者もおおり、以前は文字盤を使ったり、トーキングエイドを

使っていたが、最近はパソコンを使って意思伝達が出来るようになった。

◆テーマ 筋ジス患者への介助技術研修 講師 中場 康嘉

患者には車いすを使用している人、歩行している人等、症状や型によってそれぞれで

ある。そのため患者の出来ること、出来ないこと（利用者理解）をすることがまず大切

である。歩行している人でも微妙なバランスを取りながら歩いているため、腕を抱えて

歩こうとすると歩けなくなったりするので、介助する時は本人に手伝いが必要かを必ず

確認すること。首の力がいないため車いすで後ろに傾ける時は首を抑えて介助すること。

# 療育研修会実施状況

北海道支部

参加数 7名

テーマ ◆筋ジストロフィーとは何か？  
～当事者の話を聞く～

◆筋ジス患者への介助技術研究

講師 ヘルパー 川口 雅紀

介護福祉士 中場 康嘉

実施場所 障がい者支援施設 エンデバー

## 研修会状況写真



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

筋ジスといっても多くの型があることを知らなかった。また、以前はALSも筋ジスの  
病気と一緒にいたことも知ることが出来た。医学の進歩は著しく数10年前は筋ジ  
スと診断されていた患者が筋ジスではなく、類似の病気であるという診断されている  
ことにも驚いた。また意思伝達について実際パソコンを使って体験もさせてもらった。  
パソコンを使うことで様々な人とコミュニケーションをとることができる。

---

# 療育研修会実施状況

北海道支部

参加数 7名

テーマ ◆筋ジストロフィーとは何か？  
～当事者の話を聞く～

◆筋ジス患者への介助技術研究

講師 ヘルパー 川口 雅紀

介護福祉士 中場 康嘉

実施場所 障がい者支援施設 エンデバー

## 研修会状況写真



実施を終えて（感想等）

参加者の感想等、必ず記入して下さい。

移乗介助を行いました、抱きかかえたときに首が後ろに倒れてしまいました。

首が後ろに倒れてしまうと声が出なくなり、首を起こしてほしいと訴えることが出来な

くなりました。安心・安全な介助をしないと利用者は安心して介助をお願いできなくな

るため安心される介助ができるよう今後も技術を高めていきます。

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_